

地球環境子ども村だより

No.44

令和元年 11月12日(火) 発行



11月に入りカレンダーも残り一枚、せわしく思える今日この頃です。みな様いかがお過ごしですか？

朝夕の冷え込みが厳しくなり、特に夕方は早く暮れます。嬉しいのは、西の空に金星が昇ってきたことです。これから年末にかけて、宵の明星として輝いてくれるでしょう♪
さて、地球環境子ども村だよりは、8月末から9月の催しの様子をお伝えします。(=^・^=)

◎これまでの行事報告 (8月～9月)

亀岡生き物大学 特別講座 「植物標本を作ろう！第2回」



8月22日(金) 午前10時～12時 参加者：10名

講師：井尻 俊之氏 (亀岡植物誌研究会)

7月22日の第1回から1ヶ月、子どもたちは採集し持ち帰った植物を、毎日新聞をとりかえてきれいに乾燥させました。本日は、この植物を用いて自分だけのオリジナル標本を完成させます。最初に井尻先生から植物標本を作成する際の注意点が説明されました。また、先生は植物の名前の由来や、生息地など様々な興味深い話をされました。

子どもたちは台紙に植物と、名前や種類をまとめたラベルを貼る作業を行いました。植物の名前を調べるのが難しいですが、子どもたちはお母さんと協力しつつ、自分が採集した植物を図鑑で調べたり、熱心に先生に質問したりと好奇心旺盛な姿が見受けられました。標本作りは細やかで繊細な作業ですが、子どもたちは無事に立派な植物標本を完成させ、持ち帰る表情がとても満足そうに感じました。



台紙にきれいはりつけます。↑



子ども村 出前講座 「安詳小星空観察会☆夏スペシャル」

8月30日(金)午後7時半～9時 参加者：120名

場所：亀岡市立安詳小学校

講師：植木永子(環境学習指導員)

協力：諸星塾のみな様



夏の最後を飾る星空観察会、安詳小学校に出前講座に行きました。PTA主催で文化委員会のみな様が企画され、たくさんの方に星のお話と実際に望遠鏡で木星と土星を観て頂く予定でした。しかし、秋雨前線が猛威を振るい、かろうじて当日は曇りとなり、講座のみ行わせていただきました。

会場の体育館は、中熱心な親子が120名も訪れ、熱気ムンムンです。亀岡天文同好会の「諸星塾」のみな様に望遠鏡を3台体育館に設置していただき、野外観察の雰囲気を出しました。講義は、植木が担当、夏の星座や、見頃の木星・土星について写真を使って解説しました。また、諸星塾よりお借りした美しい天体写真を紹介させていただき、宇宙や星の不思議をお話しました。クイズや問いかけにも熱心に答えてくれた子どもたち、星と一生お友だちになってくださいね！



開始前、どんどん人が集まってきます。↑

亀岡生き物大学 中級コース 「森林教室」



9月7日(土)午前10時～午後3時 参加者：32名

講師：京都府森林インストラクター会のみな様

まず、間伐の必要性についてお話を聞いた後、ヘルメットを着け森に入りました。1本のヒノキを切り倒す作業を見学、子どもたちはノコギリを使って丸太切りに挑戦しました。子ども一人で1ヶ所ずつしっかり切ることができました。そして、野鳥の森からみんなで運び出しました。30℃を超える残暑の中、さらに自分用の材料を切りとり、みん

な汗びっしょりです。小2の女の子も手を添えて教えてもらいながらノコギリを引きました。「むずかしい」「つかれた」と言いながらもがんばって自分の材料を確保、ドリルで穴を5つ開けてもらい次は皮むきです。みんな無言で集中していました。側面に絵を描いて完成です。お弁当の時間にも木を磨いたり、絵を描いたりと作業に夢中でした。

午後からは、年輪のお菓子、バームクーヘンを焼きました。太い竹に生地を垂らしてコンロの上で回します。生地が垂れてなかなか難しかったですが、「熱い!!」「合わせて回して！」それぞれ交代しながらなんとか2個のバームクーヘンが出来上がりました。「おいしい」とお代りする子も出て、あっという間になりました。
ノコギリは引いて使うんだ →



亀岡生き物大学 特別講座 「きのこ教室」



9月22日(日)午前10時~12時 参加者：20名

講師：佐野 修治氏 (京都御苑きのこ会)

台風17号の影響が小雨程度で済み、絶好のきのこ日和です。講師の佐野先生は、きのこが描かれたトレーナーで登場、クイズを交えながら、きのこが自然の中で果たす役割について触れた後、「今日は、腐生菌、菌根菌、冬虫夏草、3つの種類を観ましょう！」と、野鳥の森に出發です。

曇りで薄暗い中、いろいろな所にきのこは生えていました。倒木や弱った木には木を分解して土にかえすカワラタケやサルノコシカケの仲間、土や枯れ葉の上にはベニタケの仲間などが見つかりました。子どもたちは率先してきのこ探し、「こっちにきのこあるよ!」「先生、こっちにも」と、とても小さなきのこを見つけた子もいました。先生は「子どもたちがきのこの目になってきましたね!」と、とてもうれしそう。珍しい冬虫夏草も見つかりました。先生が、大きなピンセットで苔の中から掘り出すと、下になにかの幼虫のようなものが、上は小さな白い花びら状です。「ガの幼虫から生えたハナサナギタケです。命を奪って生えるきのこもあります。」



ベニタケの一種 ↑

観察した後は、土の上に返しました。きのこの胞子がま

た新しいきのこになります。野鳥の森がきのこの森に変わって、新しい一面を知った日でした。

亀岡生き物大学 初級コース 「草花教室」



9月28日(土)午前10時~12時 参加者：36名

場所：花明山植物園 (宗教法人大本本部内)

花明山植物園は、亀山城の城跡の中にあります。大本本部の方に特別に城址案内をお願いしました。亀山城は、明智光秀の築城と伝えられ、当時の物で残っているのは城の石垣です。半分以上壊されたものを、大本の方たちが再建したそうです。苔むした石に築城の大名普請の印が残っており、歴史の重みを感じつつみんなで探しました。

次に植物園の見学です。今回は子ども村の植木が秋の七草や今見られる植物について、説明しながら園内を回りました。萩、ススキ、藤袴、女郎花などが盛りで、キチヨウやツマグロヒョウモンが花の間を飛んでいました。

「枥の実拾ったよ!」まん丸の栗みたい形で、少し角ばった実は椿です。「椿笛が作れるよ。」ちょうど、穴の開いた椿の実を見つけた子が吹いてみると、ピーっと澄んだ音が出ました。花明山植物園がある亀岡城址は、秋のこれから紅葉が見事です。今回は、たくさんの秋の花を観察させていただきました。大本本部と花明山植物園のみな様、ご協力ありがとうございました。

秋の七草

観察中 →



【お知らせ】

11月23日(土)の「地域ふれあいサイエンスフェスタ」に、子ども村は「チリメンモンスターを探せ!」のブースを出展します。遊びに来てくださいね!

また、これからの行事や催しは、きらり☆亀岡おしらせや、地球環境子ども村のホームページとフェイスブックをご参照ください。詳しくは、地球環境子ども村へお問い合わせください。風邪が流行ってきています。うがい、手洗いを忘れずに! (文責：植木)

地球環境子ども村

〒621-0242 亀岡市宮前町神前長野15
TEL: 0771-26-6100 Fax: 0771-26-5002
Email: kodomomura@city.kameoka.lg.jp